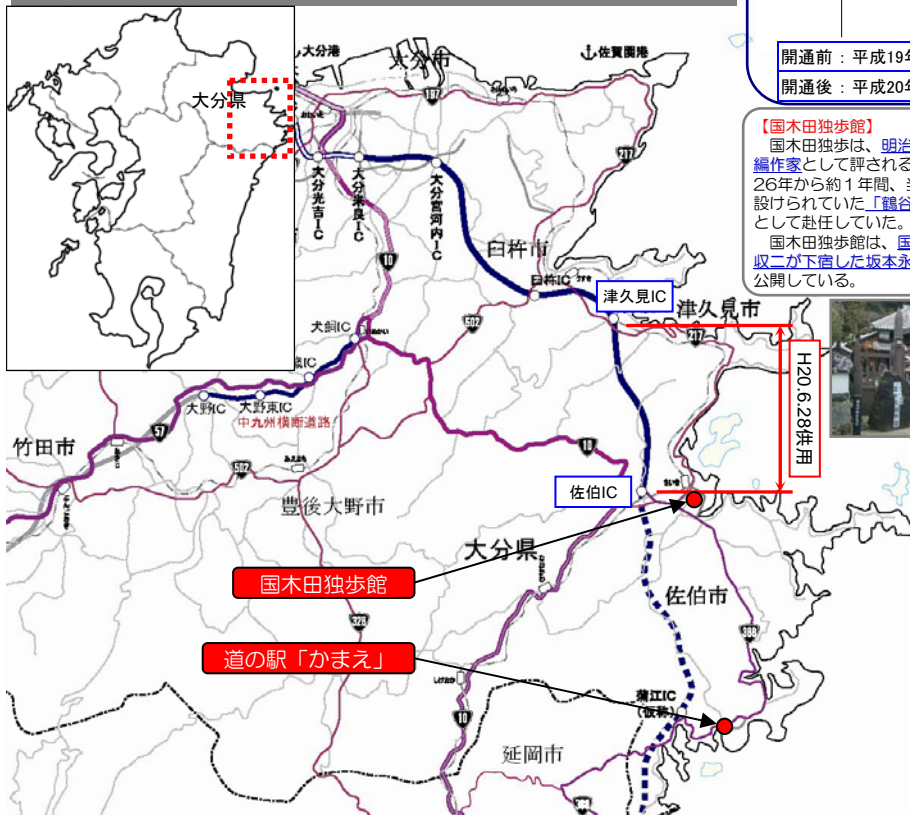


高速道路の延伸により、佐伯市の観光が活性化！

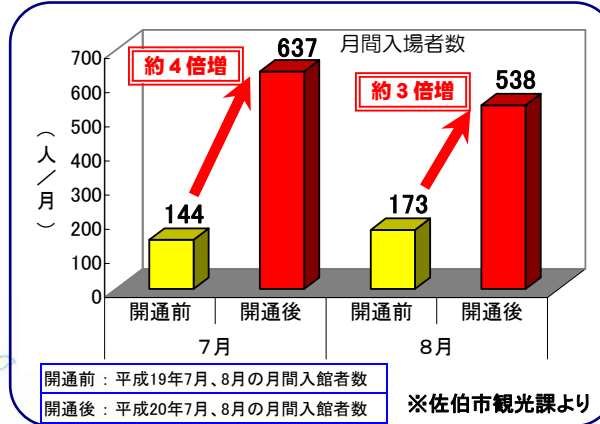
- ・平成20年6月28日に東九州自動車道の津久見～佐伯間（13km）が開通した。
- ・それに伴い、佐伯市の観光施設や道の駅等への観光客が**大幅に増加**した。（右グラフ参照）
- ・その他にも佐伯市による町歩き環境整備の影響などもあり、佐伯市へ高速道路を利用しての来訪者が増加した。

位置図

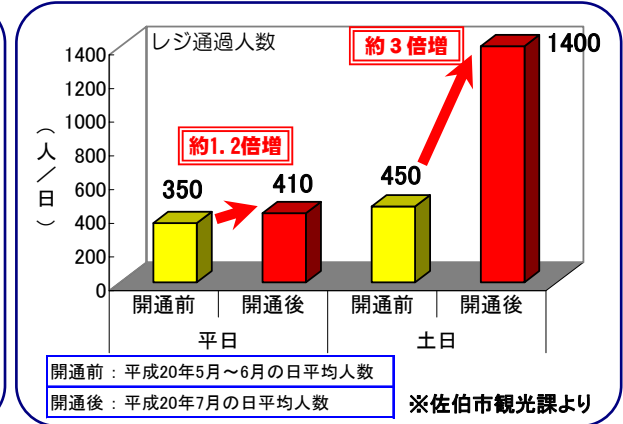


■津久見～佐伯の供用に伴う、観光施設等への影響

観光施設（国木田独歩館）



観光施設（道の駅「かまえ」）

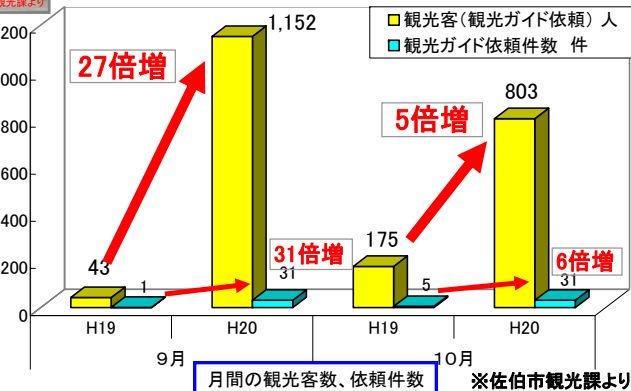


【国木田独歩館】
国木田独歩は、明治を代表する短編作家として評される人物で、明治26年から約1年間、当時佐伯の町に設けられていた「鶴谷学館」の教師として赴任していた。国木田独歩館は、国木田独歩と弟双二が下宿した坂本永年邸を修復し公開している。



観光客（観光ガイド依頼人数）

佐伯市への観光客数、観光ガイド依頼件数が大幅に増加した。増加の要因としては、人気時代小説の舞台となった地域の町歩き環境を整備したことや、「観光ガイド養成講座」の開催で、観光ガイド数を大幅に増加し、観光客の対応にあたったことなどが考えられる。さらには、佐伯ICの供用により時間的に近くなり来やすくなったことも、観光客の増加に寄与したものと推測される。



観光ガイドによる案内状況

